

環境報告書（第四回）

第82期(H18年度・18.5/21～19.5/20)

平成19年5月30日
環境管理責任者

当社足立生産センターにおける環境活動について、日頃からご支援を頂き誠にありがとうございます。
当社足立生産センターにおける環境マネジメントシステム(EMS)の状況について取得後三年目を迎えたEMSの活動経過を、目的・目標を中心に報告いたします。

■ 主な活動経過

年月日	活動内容
H.18.6	三年目スタート EMP等定時見直し実施
H.18.9	内部監査実施
H.18.10	緊急時対応：サイト内全従業員参加のもと、火災予防・避難・消火訓練実施
H.18.11	第五回維持審査受審(認証継続確認される)
H.19.2	著しい環境側面等定時見直し実施 内部監査実施 環境測定・マネジメントレビューを更新審査に合わせて臨時に実施 新規目的目標の検討に入る
H.19.3	更新審査受審(認証継続確認される)
H.19.5	マネジメントレビュー実施
H.18.6～ H.19.5	環境委員会を計7回開催

■ 目的・目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境(森林資源)を守る	低減可能損紙率を3年で15%削減することを新たな目標数値にしての2年目となった本年度は、前年よりの施策効果を引き継ぐと共に、本年は予防保全活動が実り機械故障が激減したことで、大幅な削減(26%)を実現することが出来た。 今後とも予防保全活動の継続実施、不注意によるロスミス損紙発生を最小限に抑えて、目標達成にむけて活動したい。
電気を使用する ガスを使用する	有効なエネルギー資源を有効に使う	上記の様に製品にならない生産活動を削減(損紙率の低減)し、また消灯・冷暖房温度管理を含め削減活動を実施したが、本年の目標数値を僅かながらクリアすることが出来なかった。 今後は機械メーカーのみならず、電力会社、ガス会社とも連携をとり、節電・節ガスに寄与する運転の仕方、設備改善を検討する必要があると思われる。